

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和7年3月7日(2025.3.7)

【国際公開番号】WO2024/018820

【出願番号】特願2024-534988(P2024-534988)

【国際特許分類】

H 0 2 K 11/215(2016.01)

H 0 2 K 1/2798(2022.01)

H 0 2 K 16/02(2006.01)

H 0 2 K 21/24(2006.01)

10

【F I】

H 0 2 K 11/215

H 0 2 K 1/2798

H 0 2 K 16/02

H 0 2 K 21/24 M

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月25日(2024.12.25)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステータと、

前記ステータに対して回転可能であるロータと、

を備え、

前記ロータは、

回転方向に沿って異なる磁極が交互に並ぶ永久磁石と、

前記永久磁石を支持する支持部材と、

を有し、

前記ステータは、

前記ロータの回転方向に沿って並ぶ複数の電磁石と、

前記複数の電磁石が取り付けられる取付部材と、

前記永久磁石の磁気を検出する磁気検出部と、

を有し、

前記複数の電磁石はそれぞれ、

ステータコアと、

前記ステータコアに巻回されたコイルと、

を有し、

前記磁気検出部は、

ホール素子又はホールICと、

前記ホール素子又は前記ホールICを支持する支持基板と、

を有し、

前記ホール素子又は前記ホールICは、前記ロータの回転中心に対して前記ステータコアの外側に配置される、

モータ。

30

40

【請求項2】

50

前記支持基板は、前記ロータと対向する第1面と、前記取付部材と対向する第2面と、を有し、

前記ホール素子又は前記ホールICは、前記支持基板の前記第1面に支持される、請求項1記載のモータ。

【請求項3】

前記支持基板は、前記ホール素子又は前記ホールICが実装される実装部と、前記実装部から前記回転中心に向かって突出する突出部と、を有する、請求項1又は2記載のモータ。

【請求項4】

前記突出部は、前記複数の電磁石のうちで前記回転方向に沿って隣り合う2つの電磁石の間に配置され、

前記突出部の幅は、前記2つの電磁石の前記ステータコア間の間隔以下である、請求項3記載のモータ。

【請求項5】

前記回転中心から前記支持基板の最外周までの距離は、前記回転中心から前記ロータの内周縁までの距離以下である、請求項1又は2記載のモータ。

【請求項6】

前記ロータを第1のロータとし、

前記ステータを挟んで前記第1のロータと対向し、かつ、前記第1のロータと連結される第2のロータを更に備え、

前記第2のロータは永久磁石を有しない、請求項1又は2記載のモータ。

【請求項7】

請求項1又は2記載のモータと、

前記モータに駆動されて回転する1つ以上の羽根と、を備える、天井扇。

30

40

50